

栃木放送平成 27 年度第 3 回 6 月期定例番組審議会議事録

1.開催の日時 平成 27 年 6 月 11 日（木）午前 11 時

2.開催の場所 栃木放送本社会議室

3.委員の出席 委員総数 9 名

出席委員 6 名

欠席委員 3 名

出席委員名	委員 長	増 田 仲 夫
	委 員	太 田 照 男
	委 員	竹 内 明 子
	委 員	小 林 一 巳
	委 員	関 根 房 三
	委 員	鈴 木 俊 男
局側出席者氏名	代表取締役社長	竹 澤 一 夫
	報道制作局長	高 瀬 一 也
	報道制作部	飯 田 絵 里

4 議 題

(1) 「キラキラ！ママ」について

(2) その他

5 議事内容

(1) 「キラキラ！ママ」について

試聴番組：平成 27 年 5 月 2 日（土）11：10～11：25 放送

平成 27 年 5 月 9 日（土）11：10～11：25 放送

「キラキラ！ママ」を予め試聴

議題説明：報道制作部 飯田絵里が番組概要について説明。
次に審議に入る。

各委員からは、

- タイトルに少し違和感があった。表現が硬い。楽しい話題でも全体的に硬い感じがした。お母さんだけでなく周りが支えてくれるというところを取り入れるといい。
- 「お弁当の日」の話題。シングルマザー、シングルファーザーは大変だと思う。却って差別的にならないか。
- お弁当を持ってこられない貧困家庭もある。もっと状況に配慮したほうがいい。
- 「偏食」の話、お弁当の話から入るのはどうか。間食の話や塩分の話など、もっと突っ込んだ話にしたほうがいい。
- 公共の場でも子どもが騒ぐのは当たり前。止めさせる方法よりも何故騒ぐのか、その理由を取り上げたほうがいい。
- 意欲的な番組だと思うが、大所高所からの話はなくてもいいかもしれない。
- アナウンサーの「ストレスを感じる」という言葉が何回もあり、気になった。
- これから子どもを持つとうという人にも共感してもらえるような内容作りを。
- 無料の遊び場の情報は子どもを持つ娘に聞かせたいと思った。
- 啓発というより啓蒙に近いので、それを根底においても、もっと楽に聴ける内容にするといい。子どもにも年齢幅があるので、対象年齢をもっと絞ったほうがいいと思う。
- もっと実用的・具体的な内容がいい。
- 子育てイベントに集まる人は意識が高い人。それ以外の人も楽しく自然に教養が入るような内容にするといい。
- 趣旨は素晴らしいので、子育てには両面の意見があることを認識して番組作りに取り組んでもらいたい。
などの意見が出された。

当社としてはこれらの意見を参考に今後の番組作りに取り組んでいきたい旨を説明した。

(2) その他

平成27年度第4回7月期の審議会を7月30日(木)に開催することを決めて閉会した。